

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 ヨータイ
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 四宮 和生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 江波 二郎
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 大

TEL 072-430-2100

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,897	—	278	—	323	—	166	—
20年3月期第1四半期	4,441	△6.8	213	48.4	268	44.5	165	124.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.37	—
20年3月期第1四半期	7.30	7.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	25,690	14,643	57.0	647.31
20年3月期	24,491	14,490	59.2	640.47

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,643百万円 20年3月期 14,490百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,000	—	500	—	540	—	320	—	14.15
通期	21,000	8.0	880	8.3	950	10.2	560	22.7	24.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	25,587,421株	20年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	2,964,954株	20年3月期	2,962,998株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	22,623,345株	20年3月期第1四半期	22,630,168株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融不安や米国経済の減速、原油価格・素材価格の高騰によるコスト高が加わり、企業業績は下振れが懸念され、景気の減速感がさらに強まりつつあります。

このような経済環境のもとで、当社グループの当第1四半期連結会計期間経営成績については、活発な受注活動により売上高は58億97百万円となり、売上原価は、原料および燃料の高騰によるコストアップを吸収すべく原価削減に努めたこと等により、50億14百万円となりました。

この結果、売上総利益は8億83百万円となり、販売費及び一般管理費6億5百万円を差引いた営業利益は2億78百万円となりました。

営業外損益については、営業外収益は68百万円、営業外費用は23百万円となりました。

この結果、経常利益は3億23百万円、税金等調整前四半期純利益は3億23百万円、四半期純利益は1億66百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、256億90百万円であり、前連結会計年度末に比べ11億98百万円増加しました。これは主として、受取手形及び売掛金、たな卸資産、投資有価証券の増加によるものであります。

負債は、110億46百万円であり、前連結会計年度末に比べ10億45百万円増加しました。これは主として、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、146億43百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.0%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として月次総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,150	1,113,082
受取手形及び売掛金	9,598,748	8,783,292
製品	2,439,710	2,580,998
原材料	2,292,188	1,753,149
仕掛品	488,228	544,736
その他	378,326	392,815
貸倒引当金	△1,800	△1,800
流動資産合計	16,135,552	15,166,274
固定資産		
有形固定資産	5,770,174	5,897,685
無形固定資産	98,532	107,700
投資その他の資産		
投資有価証券	3,424,134	3,092,888
その他	404,765	318,071
貸倒引当金	△142,607	△90,676
投資その他の資産合計	3,686,292	3,320,284
固定資産合計	9,554,999	9,325,669
資産合計	25,690,551	24,491,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,051,484	2,851,222
短期借入金	3,800,000	2,850,000
未払法人税等	80,222	209,938
役員賞与引当金	5,640	22,600
その他	1,243,874	1,325,512
流動負債合計	8,181,221	7,259,272
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	1,315,790	1,313,946
その他	949,773	828,411
固定負債合計	2,865,563	2,742,358
負債合計	11,046,784	10,001,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	9,431,415	9,377,786
自己株式	△519,438	△518,921
株主資本合計	13,316,962	13,263,850
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,241,311	1,044,841
繰延ヘッジ損益	1,739	△2,221
為替換算調整勘定	83,753	183,842
評価・換算差額等合計	1,326,803	1,226,462
純資産合計	14,643,766	14,490,313
負債純資産合計	25,690,551	24,491,944

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

売上高	5,897,991
売上原価	5,014,025
売上総利益	883,965
販売費及び一般管理費	605,473
営業利益	278,492
営業外収益	
受取利息	3,566
受取配当金	28,012
デリバティブ評価益	18,047
その他	18,519
営業外収益合計	68,145
営業外費用	
支払利息	9,729
為替差損	12,373
その他	1,189
営業外費用合計	23,291
経常利益	323,346
特別利益	
投資有価証券売却益	968
特別利益合計	968
特別損失	
固定資産除却損	632
特別損失合計	632
税金等調整前四半期純利益	323,681
法人税、住民税及び事業税	72,268
法人税等調整額	84,661
法人税等合計	156,929
四半期純利益	166,751

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	323,681
減価償却費	189,116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59,551
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,843
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,960
受取利息及び受取配当金	△31,578
支払利息	9,729
固定資産除却損	632
投資有価証券売却損益(△は益)	△968
売上債権の増減額(△は増加)	△835,558
たな卸資産の増減額(△は増加)	△375,779
仕入債務の増減額(△は減少)	236,142
その他	△311,630
小計	△751,776
利息及び配当金の受取額	31,578
利息の支払額	△9,729
法人税等の支払額	△183,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△913,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△107,782
投資有価証券の取得による支出	△2,078
投資有価証券の売却による収入	1,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	950,000
自己株式の取得による支出	△517
配当金の支払額	△88,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	860,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,931
現金及び現金同等物の期首残高	1,113,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	940,150

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	4,441
II 売上原価	3,723
売上総利益	718
III 販売費及び一般管理費	504
営業利益	213
IV 営業外収益	66
V 営業外費用	12
経常利益	268
VI 特別利益	—
VII 特別損失	0
税金等調整前 四半期純利益	267
税金費用	102
四半期純利益	165